

大学の就職・キャリア支援状況に関する調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、2024年9月に「大学の就職・キャリア支援状況に関する調査」を実施しました。調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

調査結果サマリー

- ・各大学のキャリアセンターが実施する就職ガイダンス、就職支援サービスへの2024年9月時点での参加状況を聞いたところ、大学3年生後期を迎える2026年卒学生の参加状況は、「80%以上」が26.1%、「60～79%」が18.5%、「40～59%」が17.6%、「20～39%」が23.5%、「20%未満」が14.3%であった。
- ・就職・キャリア支援で課題と感じているものとして「未内定学生の支援」が66.4%で最も高く、続いて「就職支援に対する学生の利用数・率」が54.6%であった。
就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているものとしては、「人手」が64.4%、「学生の集客」が61.0%と、6割を超える結果であった。
- ・就職活動を行う上で重要だと思う学生時代の経験について聞いたところ、「多くの人と関わること」が89.1%、「チームで協働すること」が86.6%と上位であった。
- ・2025年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごとを聞いたところ、「やりたいことが見つからない」や「自分が何に向いているか分からない」、「どの企業を選ぶべきか迷っている」といった相談が増えているというコメントが寄せられた。内定取得後に進路を確定できず、就職活動を長期間継続する学生も一部見受けられるとのことであった。
- ・2026年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごとを聞いたところ、インターンシップ等に関する内容が多く挙がり、どのインターンシップに参加すればよいか、インターンシップの選考に通過しなく参加ができない、という相談が複数見受けられた。また、早期選考に関する学生からの相談について書かれたコメントもあり、早期選考の案内が届き、まだ準備のできていない学生が戸惑う様子が見られる。

■ 調査概要

調査目的：キャリアセンターにおける支援の現状や抱えている課題について実態を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査期間：2024年9月9日～30日

集計対象：119校

■ 学校区分

(%)

全体	国立／公立	私立
n=119	26.9	73.1

■ 地域

(%)

全体	関東	中部	近畿	その他地域
n=119	26.1	31.1	14.3	28.6

■ キャリアセンター職員数

(%)

全体	5人未満	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上
n=119	33.6	39.5	11.8	10.1	5.0

※大学職員ではなく業務委託で支援を担当されているキャリアカウンセラーの方も含む

■ 2025年卒学生の就職希望者数

(%)

全体	300人未満	300～499人	500～999人	1,000人以上
n=119	37.8	25.2	16.8	20.2

■ 2026年卒学生の就職希望者数

(%)

全体	300人未満	300～499人	500～999人	1,000人以上
n=119	39.5	23.5	16.8	20.2

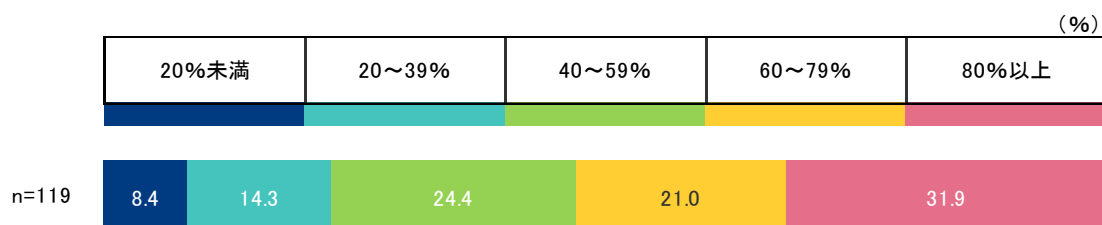
1) 学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況

各大学のキャリアセンターが実施している就職ガイダンス、就職支援サービスへの2024年9月時点での参加状況を聞いたところ、就職希望学生数を100%とした際の参加割合は、2025年卒学生の参加状況では「80%以上」と回答した大学は31.9%、「60~79%」は21.0%、「40~59%」は24.4%、「20~39%」は14.3%、「20%未満」は8.4%であった。

また、2026年卒学生の参加状況は「80%以上」と回答した大学は26.1%、「60~79%」は18.5%、「40~59%」は17.6%、「20~39%」は23.5%、「20%未満」は14.3%であった。

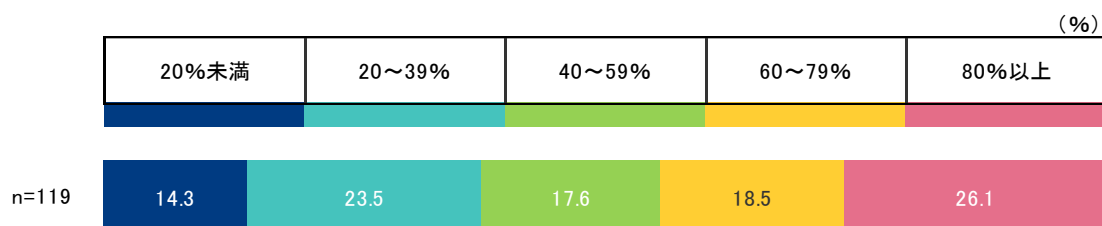
■ 2025年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況

(全体/単一回答)



■ 2026年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況

(全体/単一回答)

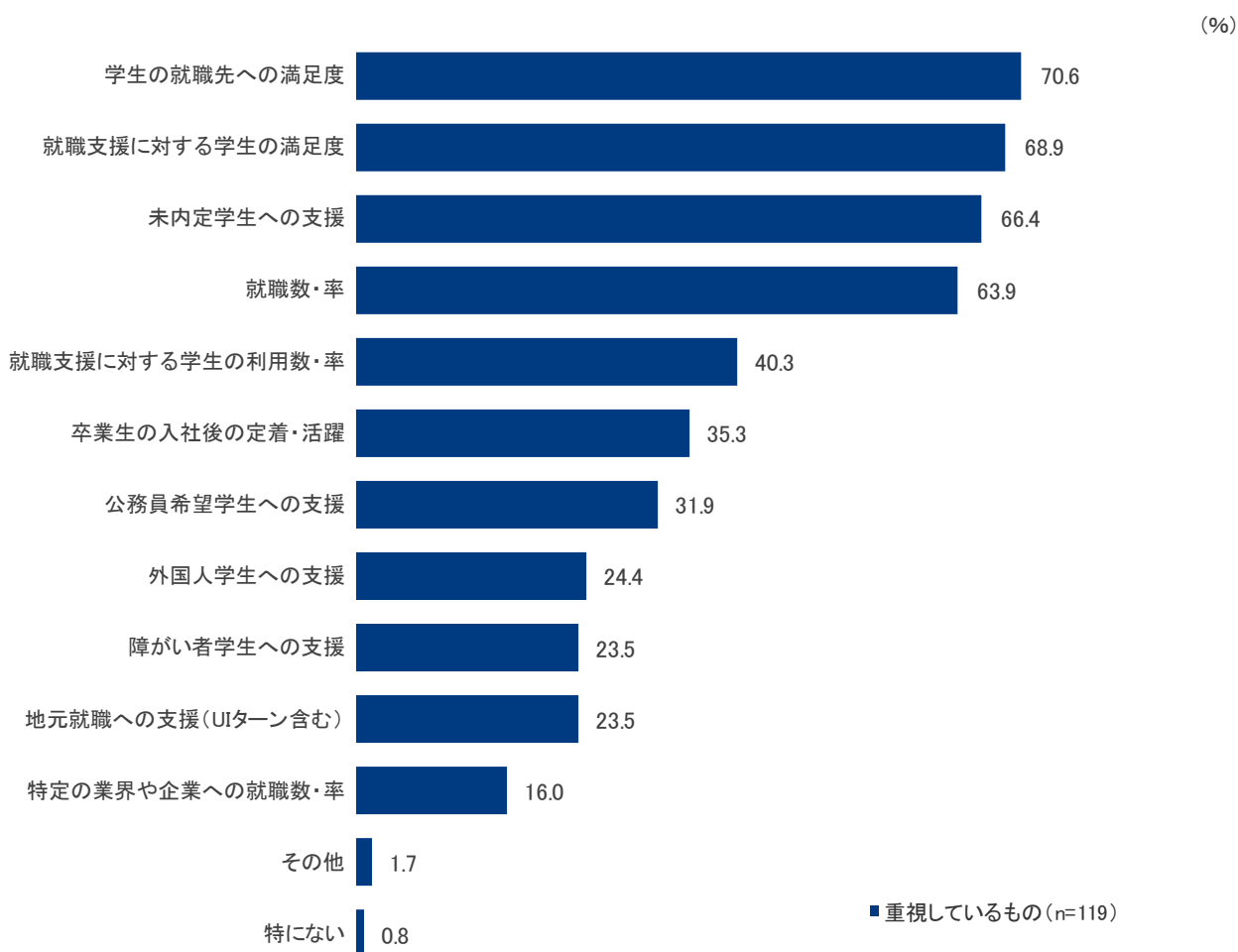


2) 就職・キャリア支援で重視しているもの

就職・キャリア支援において重視しているものは、「学生の就職先への満足度」が7割を超え最も高く、「就職支援に対する学生の満足度」「未内定学生への支援」「就職数・率」が続く結果であった。

■ 就職・キャリア支援で重視しているもの

(全体/複数回答)

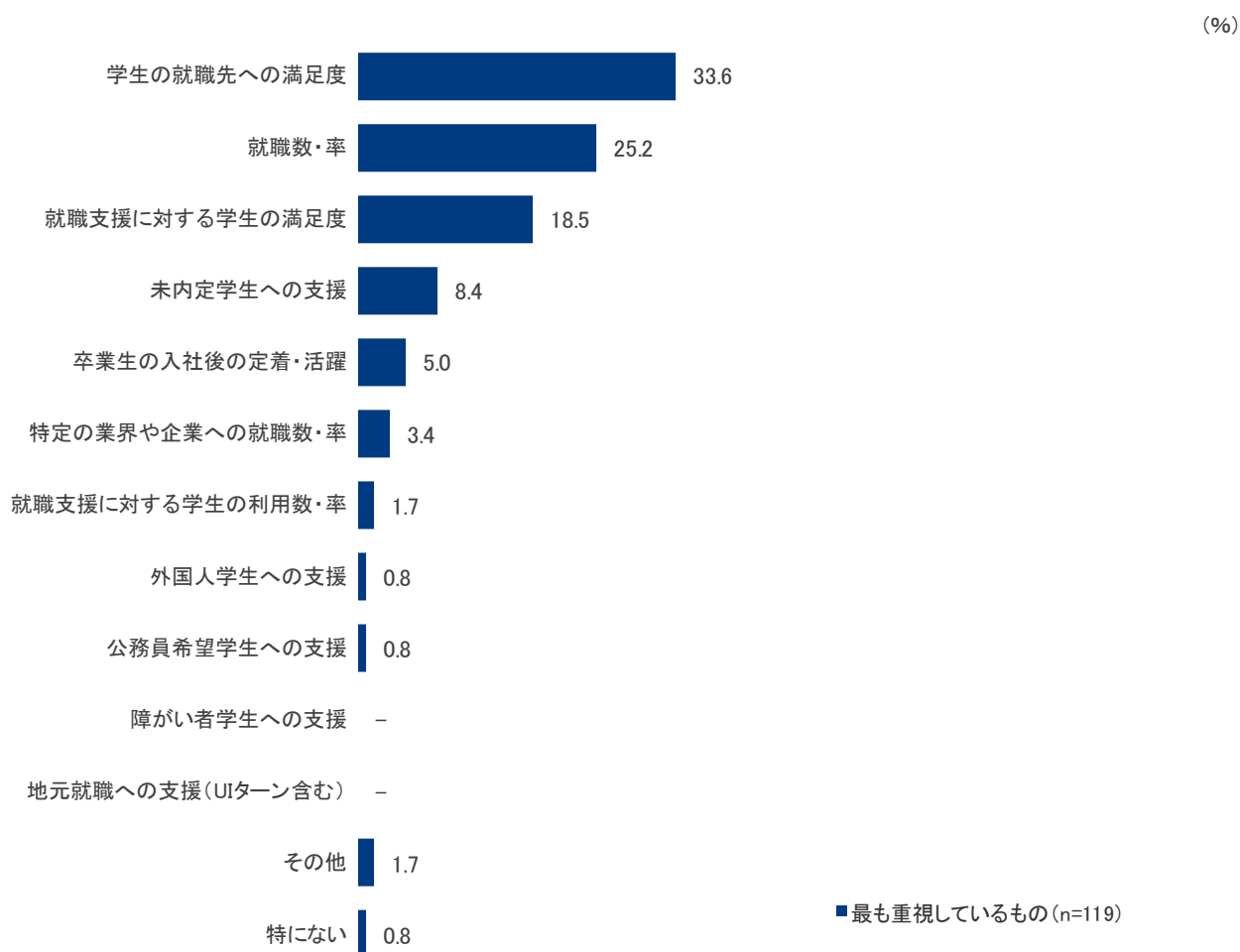


3) 就職・キャリア支援で最も重視しているもの

就職・キャリア支援において最も重視しているものは、「学生の就職先への満足度」が33.6%で最も高く、「就職数・率」が25.2%、「就職支援に対する学生の満足度」が18.5%であった。

■ 就職・キャリア支援で最も重視しているもの

(全体/単一回答)

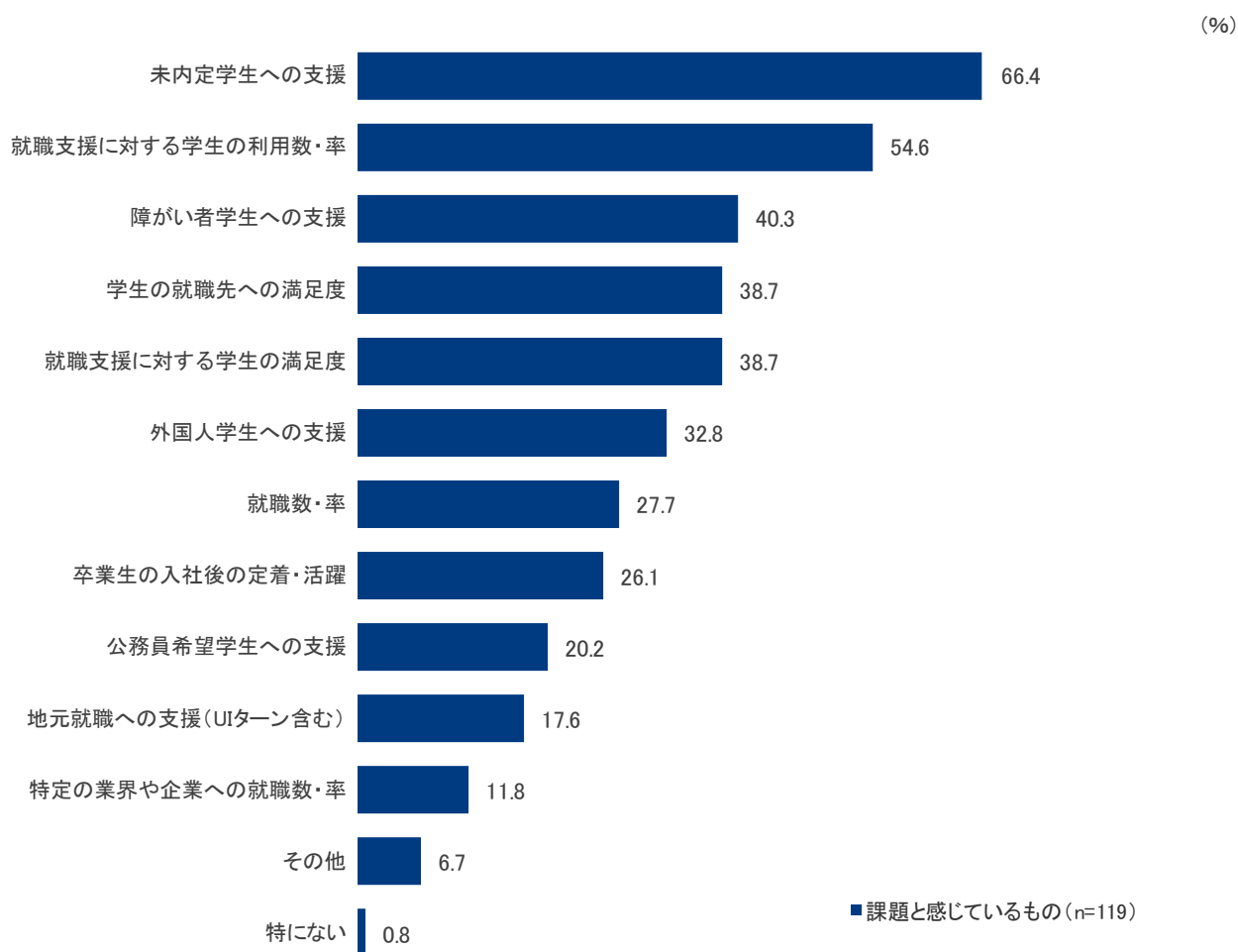


4) 就職・キャリア支援で課題と感じているもの

就職・キャリア支援で課題と感じているものを見ると、「未内定学生への支援」が66.4%で最も高く、次に「就職支援に対する学生の利用率・率」が54.6%で続く。

■ 就職・キャリア支援で課題と感じているもの

(全体/複数回答)

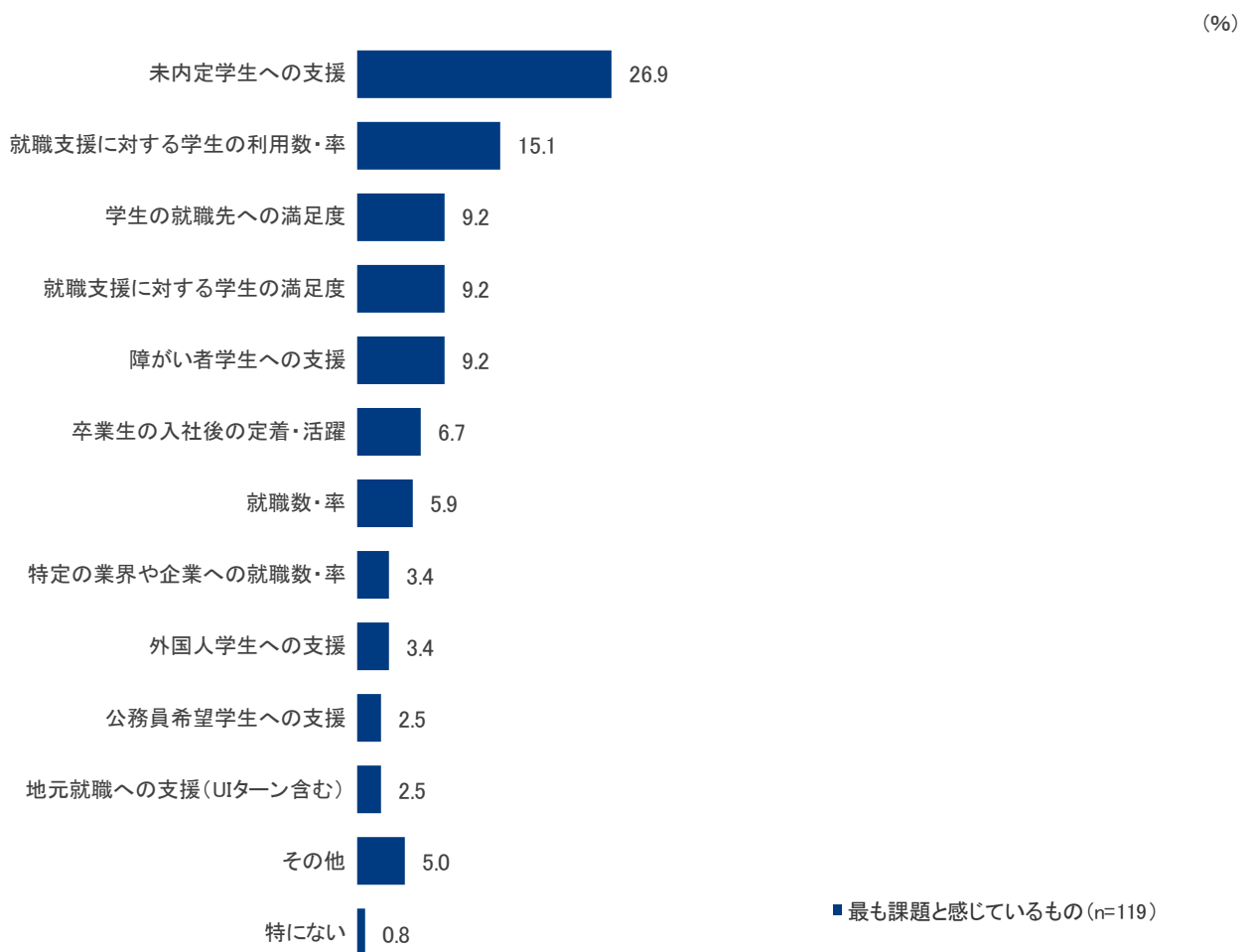


5) 就職・キャリア支援で最も課題と感じているもの

就職・キャリア支援で最も課題と感じているものを見ると、「未内定学生への支援」が26.9%で最も高く、次に「就職支援に対する学生の利用数・率」が15.1%で高い。

■ 就職・キャリア支援で最も課題と感じているもの

(全体/単一回答)

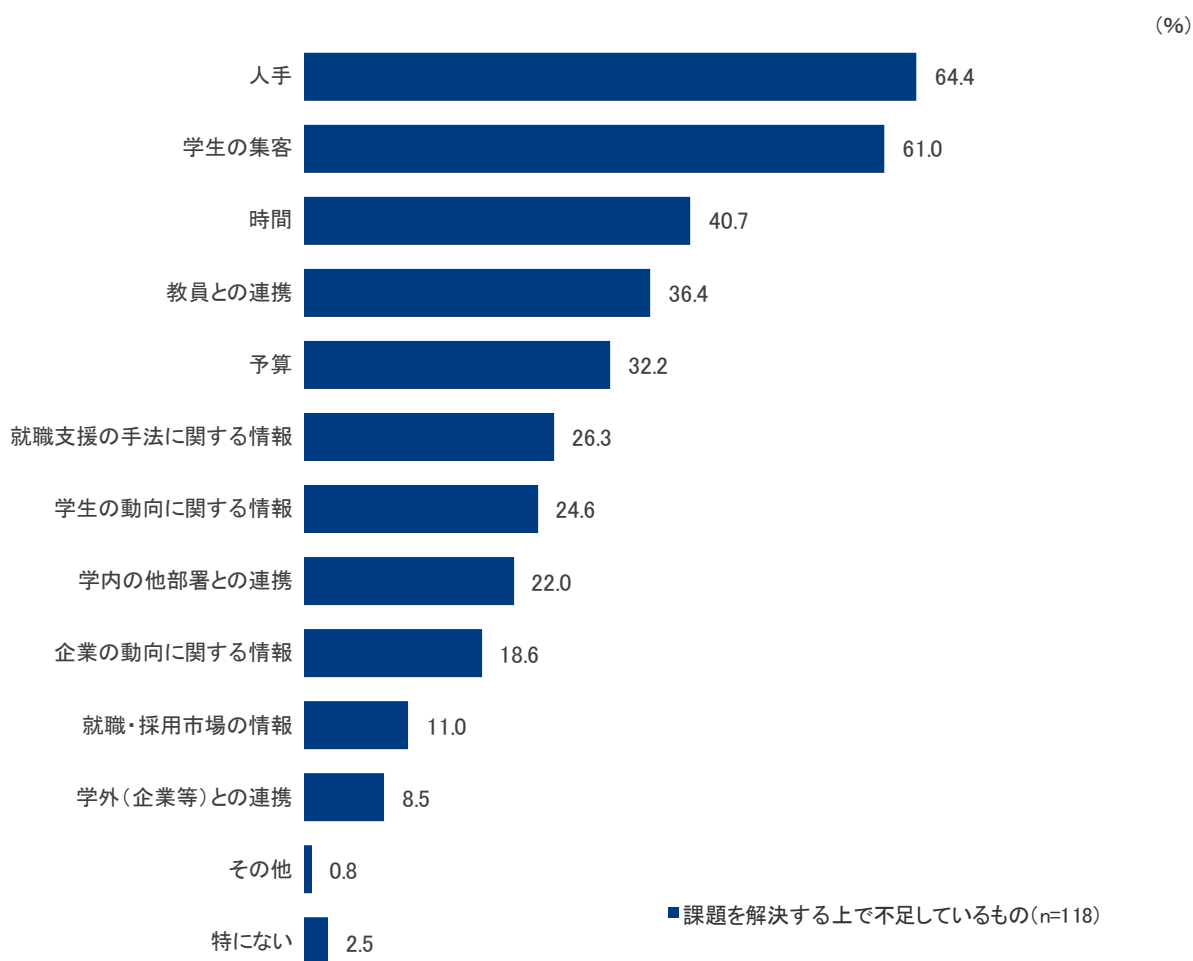


6) 就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているもの

就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているものを聞くと、「人手」が64.4%、「学生の集客」が61.0%と6割を超える結果であった。「時間」が40.7%、「教員との連携」が36.4%、「予算」が32.2%と続いた。

■ 就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているもの

(就職・キャリア支援で課題と感じているものがある／複数回答)

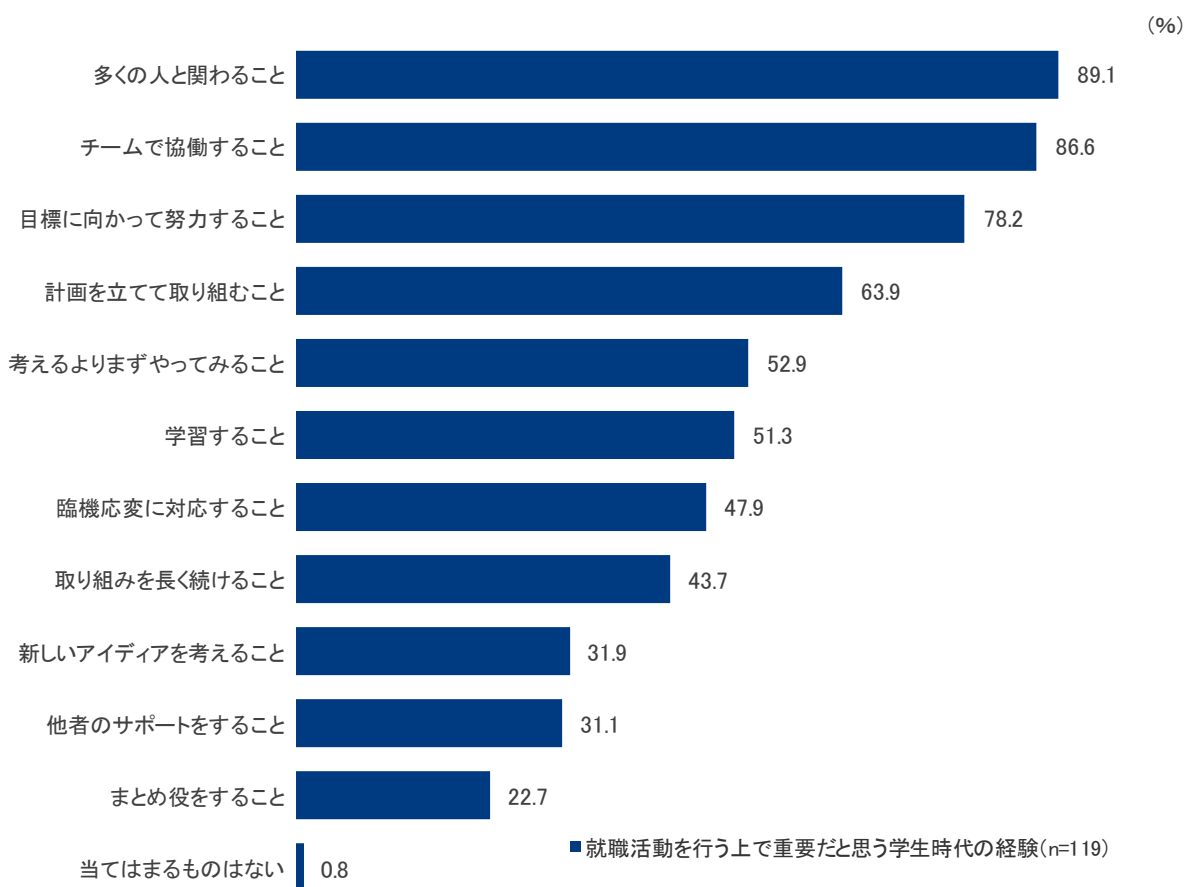


7) 就職活動を行う上で重要だと思う学生時代の経験

就職活動を行う上で重要だと思う学生時代の経験を聞くと、「多くの人と関わること」が89.1%、「チームで協働すること」が86.6%と上位であった。また、「目標に向かって努力すること」が78.2%、「計画を立てて取り組むこと」が63.9%と続いた。

■ 就職活動を行う上で重要だと思う学生時代の経験

(全体/複数回答)



8) 2025年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごと

2025年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごとを聞いたところ、「やりたいことが見つからない」や「どの企業を選ぶべきか迷っている」という相談が増えているというコメントが寄せられた。また、こだわりを持つあまり、進路を確定できず、就職活動が長期化する学生も一部見受けられるとのことであった。

■ 2025年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごと

(全体／自由回答)

コメント

選考時期が年々早くなっていること。承諾書の提出も早くなるようで、このままでは承諾書提出後の辞退につながると思われる。また、オワハラも増えるのではないかと危惧している。

学生からの相談事として「やりたい事が見つからない」。

就職活動がうまくいかない類の相談は減ったように感じています。早期選考に関する相談は増えました。

内定先への入社不安が近年多くなりました。内定後の企業のフォローが欠かせないと感じます。

インターンシップへは、参加したままで終わってしまい就職活動に活かせていないように思う。インターンシップ参加からどのような方法で就職活動につなげていくかを検討していきたい。

複数の内定をいただいたものの、どの企業を選ぶべきか迷っているという相談が増えています。

複数内定からの就職先決定、複数内定を持っていても決定に至らず、就活を継続すること。

「自分が何に向いているか分からない」という質問の仕方をする学生が増えている。

納得感をもって就活を終えることも大事だが、こだわりを持つあまり、なかなか進路決定ができずに就活が長期化している学生も一部見受けられます。

9) 2026年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごと

2026年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごとを聞いたところ、インターンシップ等に関する内容が多く挙がった。中には、インターンシップの選考に通過しなく参加ができない、という相談も複数見受けられた。また、早期選考に関する相談について書かれたコメントもあり、早期選考の案内が届き、まだ準備のできていない学生が戸惑う様子が見られる。

■ 2026年卒学生からの就職活動に関する相談内容や困りごと

(全体/自由回答)

コメント

企業の探し方が分からない。就活の進め方が分からない。

今の時期に何に取り組むべきか、インターンシップやオープン・カンパニーはどのように探したらよいか。

何をしたいか決まっておらず、どのインターンシップに参加したらいいか分からないという相談が複数ある。

インターンシップに関する内容が多く、企業の探し方や参加の時期と就職との関係について。

就業体験ができるタイプ3のインターンシップにエントリーするが、参加できないことが多くなってきているとの相談が複数あり。

インターンシップ(5日間以上)の参加について(通過しない、大学が地方であるため通勤しにくい等)。

準備が十分でない状態でも早期選考を受けるべきかどうかという相談が増えています。

9月に入り、早期選考が始まっているが、履歴書を作成するだけの十分な取り組みがなく、何をPRしていいか悩んでいる。

早期選考の案内が来たが、まだ準備ができていない場合も含めどう臨んでいけばいいか。

自己分析や業界・企業研究がほとんどできていない状態で早期選考を受けることになり不安であるといった相談を受けることがあります。